



伊吹山1981

作品集

八田 康弘



このブックについて

1982年伊吹山の花畑を見に行きました。見事な花畑でした。2021年2022年2024年とイヌワシ撮影目的で、伊吹山を訪れましたが、シカ害によって無惨な状況になっていました。

伊吹山1982年

八田康弘

伊吹山は、地理的、地質的、気候的な立地条件から伊吹山にのみ自生する伊吹山特産種、北方系要素の植物、多雪型日本海要素の植物、好石灰岩植物がみられます。
平成15年7月には、標高1,200メートル以上の「伊吹山頂草原植物群落」が国の天然記念物の指定を受けました。伊吹山の名前がついた固有種が多いのも特色の一つです。

伊吹山には「薬草の宝庫」として古来より薬草が豊富に自生し、平安時代には宮中に献上され、江戸時代には伊吹もぐさが全国的に普及しました。織田信長はポルトガルの宣教師に命じて薬草園を開かせたという逸話も残ります。



ルート



花畑



メタラカコウ



ススキ



サラシナショウマ



サラシナショウマ



サラシナショウマ



サラシナショウマ シモツケソウ



サラシナショウマ シモツケ

シシウド

© 八田 康弘



ハクサンフウロ

© 八田 康弘



イブキトリカブト

© 八田 康弘



ツリガネニンジン

© 八田 康弘





ゲンナイフウロ



カワラナデシコ



キンミズヒキ

クサボタン

© 八田 康弘





クサボタン

ミツバベンケイソウ

© 八田 康弘



シモツケソウ

© 八田 康弘





イブキボウフウ



フジテンニンソウ



アキノキリンソウ



ワレモコウ



ミヤマアキノキリンソウ



ウツボグサ

コイブキアザミ

© 八田 康弘



ルリトラノオ

© 八田 康弘



シモツケソウ

© 八田 康弘



イブキノエンドウ

© 八田 康弘





コイブキアザミ



イブキボウフウ キアゲハ

2021年 2022年 2024年 伊吹山

豊かな植生に恵まれた伊吹山は、近年急激に増加したニホンジカの食害により深刻なダメージを受けています。

伊吹山3合目では2012年（平成24年）頃から、頂上エリアは少し遅れて2015年（平成27年）頃からニホンジカの食害の影響が目立ち始めました。その後、被害はますます拡大し、特に貴重な花畑がある3合目や頂上辺りでは獣害防止柵を設置して限られたエリアの保護が図られています。



*山系



＊山並



＊夕焼け



＊紅葉



＊紅葉



＊花畑



＊ルリトラノオ



＊ニホンカモシカ



＊ニホンカモシカ



*ニホンジカ 3



*ニホンジカ



*イヌワシ1

© 八田 康弘



*イヌワシ



＊イヌワシ幼鳥



＊イヌワシ幼鳥



*イヌワシ ペア





伊吹山

HATTA YASUHIRO